

飯塚病院 内科専門研修プログラム

飯塚病院 内科専門研修プログラム

当プログラムは「急性期総合病院で活躍できる病院総合医の育成」を目指しています。日本最大級の総合診療科と13の専門診療科のサポートのもと多彩な症例を多くの仲間と学びませんか？

◎内科専門研修プログラムの特徴

- * 1000床を超える大病院に集う100名の研修医
- * 総合診療科と13の専門内科が“学び”をサポート
- * 選択可能な2つのコースがキャリアプランに柔軟に対応

平成元年から研修医を受け入れ、現在約100名の研修医が在籍しています。1000床の受け皿は豊富な経験を可能にします。100名の研修医が互いに知識・経験を共有し刺激し合うことで“学び”を深めていきます。日本でも有数の規模を誇る総合診療科と13の専門診療科の指導医がそうした“学び”をサポートします。当プログラムに応募する際に「ジェネラリストコース」と「サブスペシャリティコース」のいずれかを選択して頂きます。「ジェネラリストコース」は総合病院で活躍する総合内科医の育成を目指します。総合診療科が中心となり運営します。「サブスペシャリティコース」は総合内科的視点を持ったサブスペシャリストの育成を目指します。進みたいサブスペシャリティ領域が既に決まっている方を対象とします。選択された13の専門診療科が中心となり運営します。いずれのコースも自由選択期間が設けられており、ご自身のキャリアに合わせた多彩な研修が可能です。

◎総合内科研修の中核に位置する総合診療科の教育体制

- * 24名のスタッフによる密度の高い教育体制
- * 内科、集中治療、外来とバラエティーに富んだ教育環境
- * チーム診療制、ナイトシフト制による無理のない診療環境

2019年度総合診療科スタッフ医師数24名、後期研修医数（専攻医含む）26名、総勢50名です。総合内科研修の中核に位置する総合診療科での研修の特徴はなんといっても密度の高い教育体制です。一般チーム5チームと重症チームの計6チームが常時120～140名の患者の診療を行います。一般チームは指導医1名、研修医2名で構成され、3ヶ月当たり70～80症例を経験します。重症チームは指導医3名、研修医4名で3ヶ月当たり100～120症例を経験します。内科系集中治療の考え方・手技を集中的に学びます。外来研修では外来専属指導医のもと6週間当たり150～170名の新患を担当します。外来での時間軸を意識し、指導医の思考過程をなぞりながら問題解決能力を体得します。主治医制ではなくチーム制、かつ時間外はナイトシフト制を導入し、オンとオフの区切りを明確にすることで診療の質改善を図ります。

日本一魅力のある内科専門研修プログラムを目指しています。皆さんの参加を心より歓迎します。